

1 研究主題との関連

研究主題

新たな時代を切り拓く 「資質・能力」の育成

～深い学びの視点からの教育活動の充実を通して～

本校の研究主題『新たな時代を切り拓く「資質・能力」の育成～深い学びの視点からの教育活動の充実を通して～』に迫る手立てとして、自分の考えをもち、生徒同士で伝え合い、さらに考えを深める工夫をしたい。中学校学習指導要領 特別の教科道徳の目標によれば、「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」とある。

本時では、教材を通して、様々な角度から登場人物の考えを考察し、物事を多面的・多角的に考え、きまりを自律的に捉え、社会の規律を自ら高めていこうとする心情を育てる。昨年度の道徳の研究授業で、生徒同士の活動による考えの深まりに課題があったことを踏まえ、ペア・グループで日常生活の中のきまりが使われる場面を共有したり、グループできまりを守ることの意味について考えたりして、話し合った内容を伝え、全体で共有し、生徒の考えから、自分の生き方について考えを深める。この道徳の授業で考えたことを、日々の生活で生かして、よりよい学級・学校づくりに貢献し、将来的に、よりよい社会づくりに貢献できるような人間性の基礎を培う。

2 主題名 規律ある社会の実現 (C-10 遵法精神、公德心)

3 教材名(資料名) 淳の住む町 (出典 『輝け未来 中学校道徳1年』 学校図書)  
[教科等年間指導計画 道徳 1学年 11月]

4 主題設定の理由

(1) 価値観

この主題は、内容項目 C「主として集団や社会との関わりに関すること」の「法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること」にあたる。

「法やきまり」は、この集団に秩序を与え、摩擦を最小限にするために、人間の知恵が生み出したものであることや、社会の秩序と規律を守ることによって、個人の自由が保障されるということを理解することが大切である。理想に向かい、今ある現状をどのように改めていけばいいのか、日常生活の中のきまりをどのように捉えてよりよい社会を実現していくか、ということを考えさせたい。また、生徒の今後の学校生活や島立ちにおいても、人の権利や義務を踏まえたより広い視野から、法やきまりの意義について考え、進んで自らの責任を果たし、規律ある社会生活の実現に貢献することは重要である。

## (2) 生徒観

学級の生徒は、きまりやルールに従って、何が正しく、何が間違いか判断する力が身に付いている。6月に行ったi-checkでは、「学校の規則や、クラスで話し合っただけを守っていますか」という質問に、93.8%が「守っている」と答えている。実際の学校生活の中でも、校内のきまりを守って、よりよい学校生活にしようと考えていることができている。けじめや私語など、授業中のきまりが守られていない姿をお互いに注意したり、学級の課題として、そういったきまりはしっかり守るべきであることを挙げたりするなど、積極的にきまりを守ろうとする態度が見られる。

一方で、「ルールだから守る」と他律的に捉えている面もあり、自分自身だけでなく、『他者の生活や権利を守るためにきまりやルールが必要である』と捉えることができていない。「教室にゴミを散らかしてはいけない」ことは知っているが、教室に落ちているゴミを見つけた時に、相手の物だから、相手に捨てさせようと周りに押し付けて放置する生徒もいれば、見つけたら自分で拾って捨てる生徒もいる。

法やきまりが自分自身を守るためだけではなく、自分たちの社会生活を安定的なものにしていることを考えさせ、自律的に捉え、社会の規律を自ら高めていこうとする道徳的心情を身に付けさせたい。

## (3) 資料観

この教材は、ルール違反のゴミを出したマンションの住人に対して、稲尾のおばあさんが抗議するが、違反ゴミが放置されたままの状況が続き、子どもがけがをしてしまうという内容である。違反を指摘し改めさせようとする行動とそれに対して反応がない住人たちの実態、違反を放置することで自分を含め社会にとって困る状況を招く危険性に気付くことができる資料である。

今起きている問題をどのように改善していけばよいのか、日常生活のきまりを守ることが自分自身や他者の権利を大切にすることにつながるという心情を身に付けさせたい。そして、自他の生活や権利を大切に、義務を果たすことで、規律ある社会が実現できることを理解した上で、今後の学校生活や社会生活における行動に結び付けたい。

# 5 本時の指導

## (1) 本時の概要

きまりを守るのは「ルールだから守る」と他律的に捉えている生徒が、きまりが守られなかった場面で、違反を指摘し改めさせようとする行動について、自分の行動と比較し、心情を考え、全体で話し合うことを通して、「自他を大切に、社会生活をよりよくしていくためにきまりを守る」と自律的に捉えられるようになる。

## (2) ねらい

日常生活のきまりを守ることについて考え、進んで規律ある社会生活を実現させようとする心情を育てる。

## (3) 授業の工夫

きまりが守られなかった状況で「自分ならどうするのか」自分事として考えさせ、「自分はきまりを守っているから、関わらない」という消極的な行動と、違反を指摘し改めさせるという積極的な行動を比較し、背景にある心情について話し合うことで、規律ある社会生活ときまりの関係を自律的に捉えていけるように工夫した。

## (4) 展開

段階	学習活動	主な発問	予想される生徒の発言や心の動き	◆指導上の留意点 □評価
導入 (5)分	本時のテーマの提示 日常生活のきまりを出し合う	・日常生活（学校、家庭、地域）でどんなきまりがあるか	・時間を守る ・忘れ物しない ・敬語で話す ・課題を提出する ・行事に参加する	◆ペア→全体で生徒の日常生活のきまりを想起させ、共有する ◆なぜきまりを守るのか導入時の考えを確認する □積極的に自分の考えを言える
展開 (35)分	教材の前半を読む	<input type="checkbox"/> 頭 どんな登場人物が出てきて、どんな行動をとったか	・淳：ゴミが放置されているのを見ていた ・稲尾のおばあさん：違反ゴミに貼り紙で注意した ・粗大ゴミを捨てた人：粗大ゴミをそのままにした	◆登場人物のイラストとその行動を板書し、立場を整理する
	ワークシート ※その場で考えさせたいので、質問文はパワーポイントで提示する	<input type="checkbox"/> 補助発問①それぞれの登場人物はどう思っていたのか？	・これからどうなるんだろう（淳） ・ちゃんとルールを守ってほしい（稲尾のおばあさん） ・誰かがどうにかしてくれるだろう（粗大ごみを捨てた人）	◆個人→全体で考えを共有する ◆行動の背景にある心情を考える
	グループワーク	<input type="checkbox"/> 補助発問②自分がこのマンションの住人だったらどう対応するか？なぜ？	・関わりたくないからそのままにする ・迷惑だから自分で手続きして捨てる ・管理人に連絡して片付けてもらう。 早くどうにかしてほしい	◆グループ→全体で考えを共有する ◆自分の行動と心情を考える
	教材の後半を読む	<input type="checkbox"/> 頭 おばあさんのことをどう思うか？  <input type="checkbox"/> 頭 もしおばあさんがいなかったらどうなるのか？	・ごみを片付けてくれて優しい ・ずっと注意してきてきまりに厳しい  ・ケガする人がたくさん出る ・ゴミ置き場のスペースがなくなる	◆全体で考えを共有し、積極的に行動する人の心情を捉える  ◆発問②の消極的な行動と比較し、起きる状況に対する心情を考える
グループワーク	<input type="checkbox"/> 中心発問③なぜきまりを守る大切なのか？	・自分も周りの人も過ごしやすくする ・周りに迷惑をかけず、安心して過ごせる	◆グループ→全体で話し合う ◆きまりが守られない場合、自分も周りの人も嫌な思いをすることを踏まえ、考えさせる	
グループワーク	<input type="checkbox"/> 頭自分がマンションの住人だったらどう対応するか？なぜ？	・一緒に解決したいから、自分にできることを考える ・迷惑だから、手続きして捨てる ・片付けたいから、他の住人や管理人とどうにかできないか話し合う	◆発問②での考えと変化があるかどうか確かめるためもう一度問う □自分の考えを伝え、他者の意見を積極的に聞くことができる	

終 末 （10） 分	ふり返りを書く 発表	今日の授業で考えたこと・ 気付いたこと・これから生 かしていきたいこと	・自分だけではなく、周りの人も生活 しやすくなるためにきまりがあるこ とに気付いた ・みんなが過ごしやすくなるように考 えながら、きまりを守るようにしたい	◆導入時の考えと変化・深まり があったか考えさせる  □ワークシートの記述
---------------------	---------------	---	---	--

(5) 本時の評価

・自他の生活や権利を守るために法やきまりがあり、法やきまりを守ることで規律ある社会を実現できるということを理解して、きまりを守ることについて、様々な角度から自分の考えを深めていた。（ペア・グループでの話し合い、ワークシート）

・きまりを守ることについて、教材を通して深めた考えを、これからの生かそうとしていた。（ワークシート）

(6) 板書計画

なぜきまりを守るのは大切か	住人だったらどう対応するか	 おばあさん の思い	 ごみを出し た人の思い		日常生活のきまり <input type="checkbox"/> 学校  <input type="checkbox"/> 家庭  <input type="checkbox"/> 地域 なぜ守るの？
		<input type="text" value="淳の思い"/>			

(7) ワークシート・その他活用資料

ワークシート

6 事後指導

この道徳の授業を通して、きまりやルールは自分自身のためだけでなく、他者のためにも大切にするものであると考え、日々の生活の中で、社会の一員としての意識を持ち、進んできまりを遵守できるよう行動実践につなげる。